2011年度公開シンポジウム

震災と宗教

2012年1月7日(土) 13:25~16:35
明治学院大学横浜キャンパス7号館720教室

東日本大震災では、宗教が果たすべき役割につき、改めて考えさせられました。津波に流された現場で位牌を探す住民。被災地でコミュニティの中核となった寺院。火葬が間に合わず、遺体を土葬にした仮埋葬場。そして、被災地を回り、祈りを捧げる天皇と皇后。震災という非常時のなかに現れたこうした光景のなかに、日本人にとって宗教とは何かを考える重要なヒントが隠されているのではないのでしょうか。著名な宗教学者や哲学者を迎え、徹底的に議論したいと思います。

国際学部附属研究所長 原 武史

■ パネリスト ■

阿満 利麿 (明治学院大学名誉教授、宗教学者)

島 蘭 進 (東京大学大学院教授、宗教学者)

西 谷 修 (東京外国語大学教授、フランス哲学者)

ヴィーシー・アレキサンダー (明治学院大学准教授、日本文化学者)

■ 司 会 ■

原 武史 (明治学院大学国際学部附属研究所長、政治学者)

* 無料、事前申込不要です。

* 定員 500 名 (満席の場合、入場をお断りすることがございます。)

* 駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

パネリスト

阿満 利磨 (あま・としまろ)

1939 年生まれ。宗教学者、明治学院大学名誉教授

著書に、『宗教の深層』(ちくま学芸文庫) サントリー学芸賞、『日本人はなぜ無宗教なのか』(ちくま新書)、『親鸞』(ちくま新書)、『法然入門』(ちくま新書) など。

島蘭 進 (しまその・すすむ)

1948 年生まれ。宗教学者、東京大学大学院教授

著書に、『現代宗教の可能性』(岩波書店)、『<癒す知>の系譜』(吉川弘文館)、『国家神道と日本人』(岩波新書) など。

西谷 修 (にしたに・おさむ)

1950 年生まれ。フランス哲学者、東京外国語大学教授、元明治学院大学教授

著書に、『世界史の臨界』(岩波書店)、『「テロとの戦争」とは何か』(以文社)、『理性の探求』(岩波書店) など。

ヴィーシィ・アレキサンダー VESEY, Alexander)

1962 年生まれ。仏教社会史と日本文化学者、明治学院大学准教授

主な論文に、「核兵器と米国社会—スミソニアン事件と「記憶」の中の爆撃投下」『Prime』31号(明治学院大学国際平和研究所)、「近世森林管理と出入を介してみる寺院と村落の関係」『日本人の宗教と庶民信仰』(吉川弘文館)、「For Faith and Prestige: The Social Dynamics of Religious Patronage in Tokugawa Japan」, *Early Modern Japan* など。

司 会

原 武史 (はら・たけし)

1962 年生まれ。政治学者、明治学院大学教授

著書に、『大正天皇』(朝日選書) 毎日出版文化賞、『昭和天皇』(岩波新書) 司馬遼太郎賞、『滝山コミュニティー九七四』(講談社文庫) 講談社ノンフィクション賞 など。

国際学部付属研究所

〒244-8539

横浜市戸塚区上倉田町 1518

TEL. 045-863-2267

FAX. 045-863-2272

<http://www.meijigakuin.ac.jp/~iism/>

最寄駅：JR東海道線・横須賀線・横浜市営地下鉄「戸塚駅」
戸塚駅東口バスターミナル 8 番乗り場より、江ノ電バス「明治学院大学南門行」に乗り、終点「明治学院大学南門」にて下車(乗車約 7 分)

明治学院大学南門方面行

江の電バス時刻表

土休日用

12	10	25	40	55
13	10	25	40	55
14	10	25	40	55
15	10	24	40	55